

S N C D 地域福祉におけるソーシャルネットワーク  
第13回研究会 2021/12/5 (日) 話題提供者 堀 崇樹

# 『友達の友達：ネットワーク、操作者、 コアリッション』 ジェレミー・ボワセベン

Jeremy Boissevain, *Friends of Friends:  
Networks, Manipulators and Coalitions*: 1974



写真) <https://www.pressreader.com/malta/malta-independent/20150627/282200829571037>

『友達の友達：ネットワーク、操作者、コアリッション』  
ジェレミー・ボワセベン  
(岩上真珠・池岡義孝訳、未来社、1986年)

## 目次

### 第1章 序章

### 第2章 ネットワーク：相互作用と構造

第3章 葛藤状況における価値と相互作用

第4章 環境と社会的ネットワーク

第5章 二つの個人ネットワークの事例研究

第6章 社会的操作者：事業家としてのブローカー

第7章 コアリッション

第8章 過程としてのコアリッション

# 構造-機能主義批判

- 「（構造－機能主義の社会モデルは）社会を永続的な集団のシステムとみなすもので、この集団は、地位と役割によって構成され、一組の価値によって支持され、当該システムの均衡を維持する裁可を伴っている」（p. 28）
- 「そこでの中心的な問題は、…社会秩序は何によって成立しているのか、という問いである」（p. 28）
- 「人間はシステムを支持する支配的な価値基準に従って行為する道徳的存在だという前提がある」（p. 31）
- 「行動はシステムによって説明される」（p. 38）

# 構造-機能主義批判

- 「（構造-機能主義者は）研究対象である制度の発生や発達をほとんど説明しようとしていない」（p. 32）
- 「実在しない一般化された『平均的人間』の理念的行動のあてはめ。「インフォーマントが実際にはどのように行動するのか、あるいはなぜそのように行動するのかということについては何ら説明していない」（p. 38）
- 「操作者としての個人を分析の中心に」据えた分析と「集団中心の分析（構造-機能主義者）」の対立（p. 43）
- 「私は、構造-機能主義者は変化に反対する傾向があるのだと言いたい」（p. 44）

# 過程としての社会

「もし人物AがBに対して、BがAに返しきれないほどの社会的に価値の高いサービスを提供し、その結果、BはAに対して義務を負うことになったとする。このことはAに、Bに対する一定の支配力をもたらす。つまりAは、Bが抵抗したとしても、A自身のやり方をある程度押し通せる勢力を獲得するのである。…この考え方を進めていけば、社会の概念は、静態的で自己規定的なシステムとしてよりもむしろ過程として把握される」(p. 50)

# 個人（操作者）発の社会の創造

「個人のネットワークは、一定の社会的環境を形づくる。そしてその環境のなかから、あるいはまたその環境を媒介にして、彼の行動に影響を与えるために圧力が加えられる。しかしその環境はまた、他者の行動に影響を与えるために、彼自身が、それを媒介にして圧力を加えることのできる環境でもある。…個人はその社会関係のなかから、あるいはまたそれを媒介にして、競争相手に対抗するために支持をとりつけたり、目的を達成するために支持を動員したりする」(p. 50)

# 人間像と相互作用の理解

## 構造-機能主義分析

人間 = 支配的な価値基準に従って行為する道徳的存在 (p. 25)

圧力 = 非人格的な社会や集団からの圧力 (p. 25)

## ネットワーク分析

人間 = 自分のために行動する利己的な存在でもある (p. 25)

自己本位的な操作者 (p. 23)、自己本位的な事業家 (p. 27)

圧力 = 相互依存関係にある他の個人からの圧力 (p. 25)

# 本書の焦点

われわれは誰もが、友達やあるいは一時的に同盟関係を結び合う友達の友達を通して解決をはかる問題を抱えている。社会行動のこの基本的な形態こそが、本書の中心的な焦点を成すものである。(p. 20)

- ① 個人間の関係がどのように構造化され、それによって個人がいかなる影響を受けるか
- ② 社会的な事業家social entrepreneurとみなされる個人が、目標を達成し問題を解決するために、この個人間の関係をどのように操作するか
- ③ 個人が自己の目的を達成するために構築する一時的なコアリッションcoalitionの組織化と動態はいかなるものか

↓

- ① 友人、親族、仕事仲間のネットワーク
- ② 彼らのあいだで行われる世間話、訪問、取引き、策動
- ③ 扇動やイデオロギーや闘争がこれらのネットワークにあたえる影響
- ④ 野心家が有益な諸関係間に信用基盤を確立するためにとる手段
- ⑤ 近隣および職場のクリークcliquesと派閥factionsの作用



# ボワセベンのネットワーク理論

## 1 客観的規準

### (1) 相互作用上の規準

- ①多重送信性、②取引の内容、③流れの方向、
- ④相互作用の頻度と継続期間

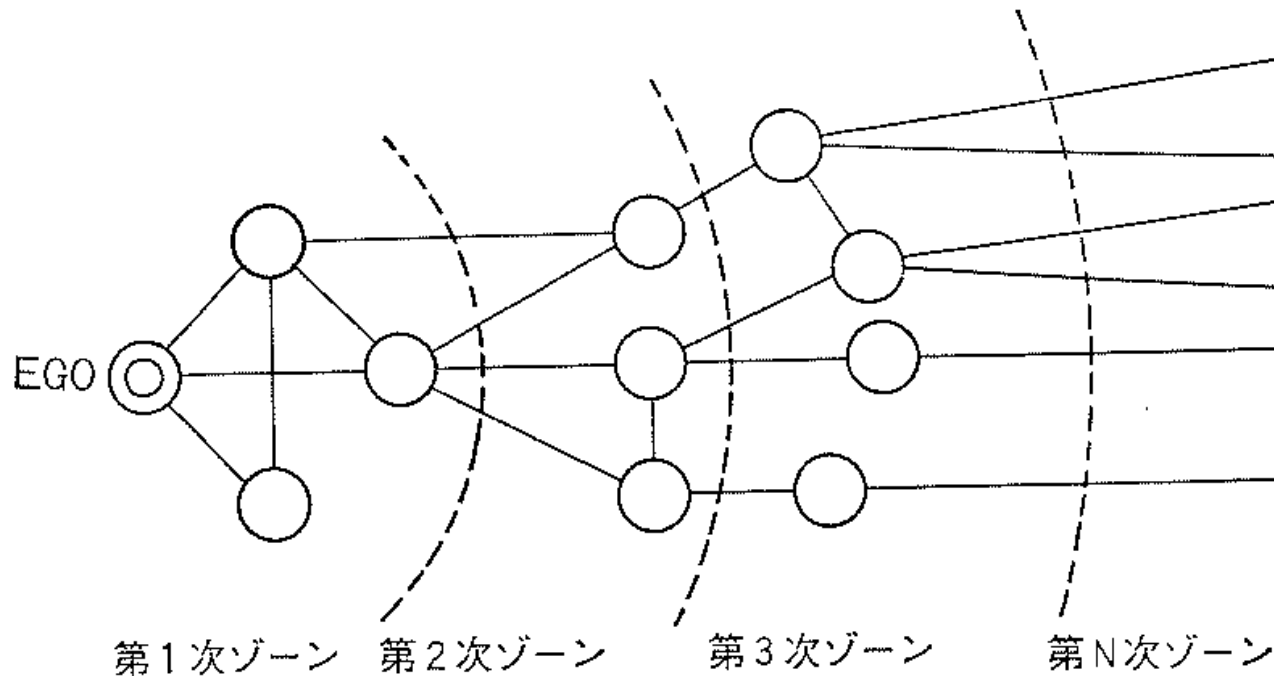
### (2) 構造上の規準

- ①規模、②密度、③連結度、④中心度、
- ⑤クラスター

## 2 主観的規準

「内容と構造の数量的指標への過度の依存に対する  
必要な修正を加える」(p. 73)

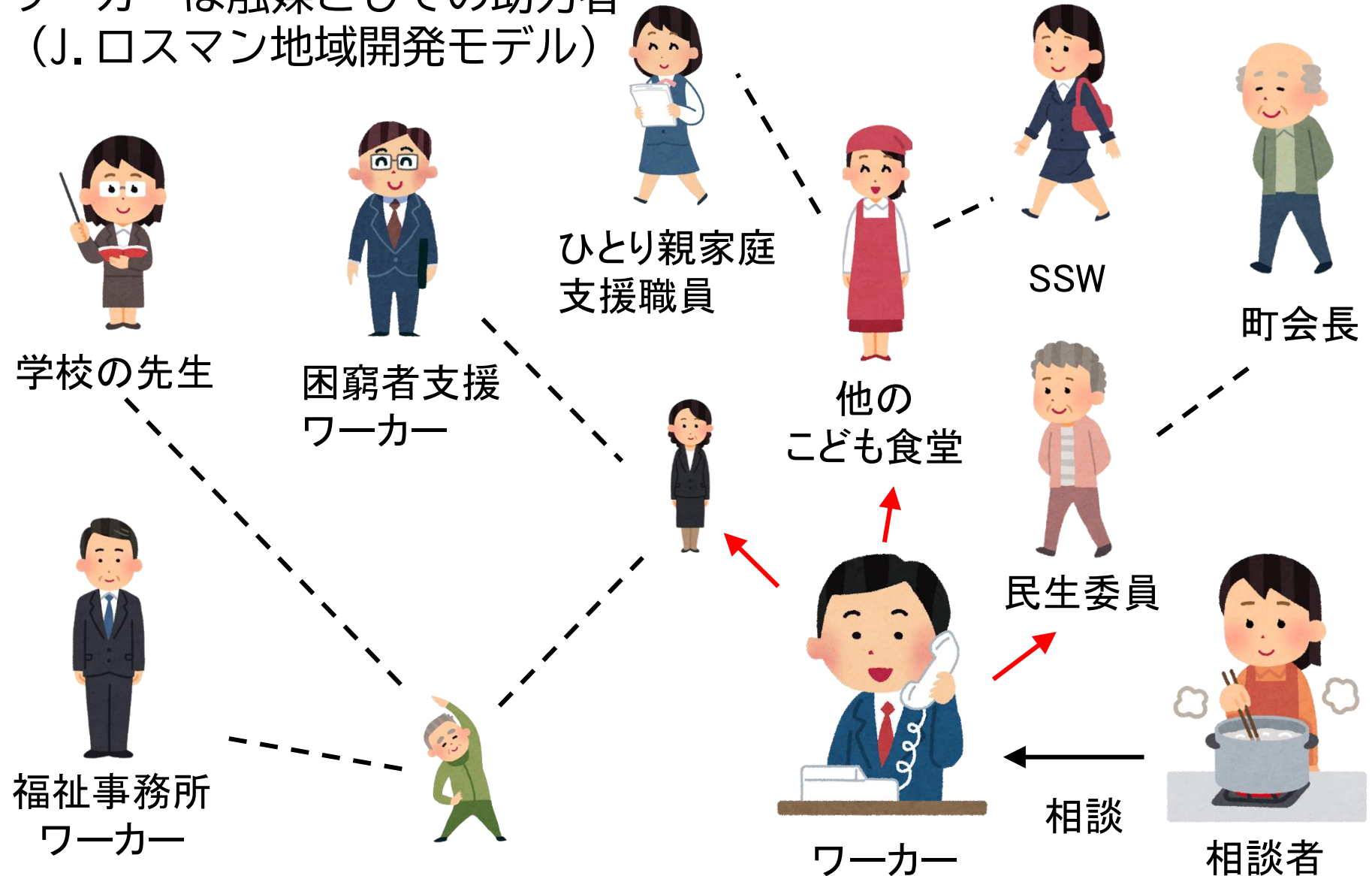
# 個人ネットワークの拡がり ゾーン区分



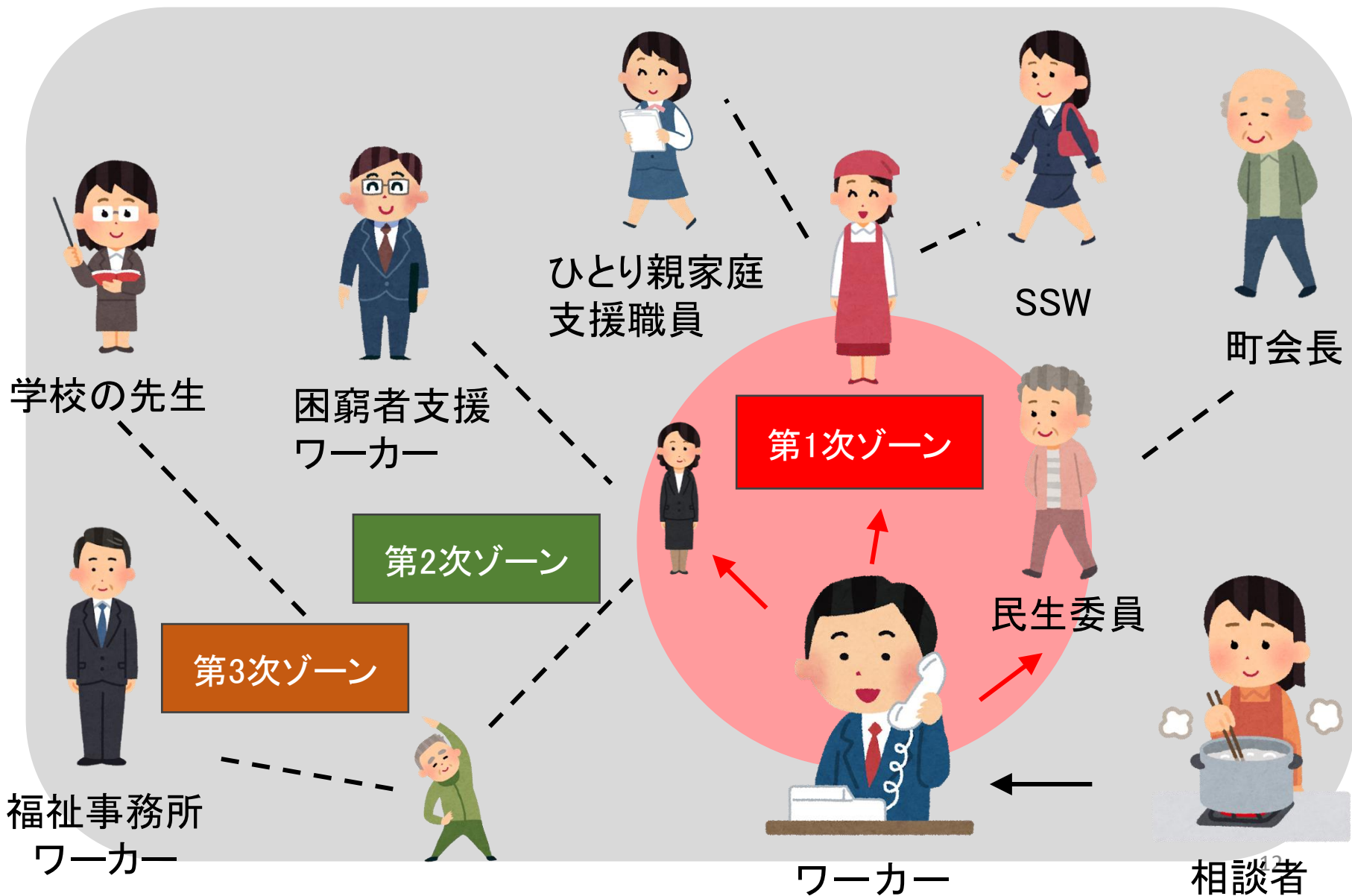
中心人物（EGO）は、第1次ゾーンの成員（中継者）を介して、第2次ゾーン、…第N次ゾーンの人びとと接触可能である。

# 活動を支援するつながりのイメージ

ワーカーは触媒としての助力者  
(J. ロスマン地域開発モデル)

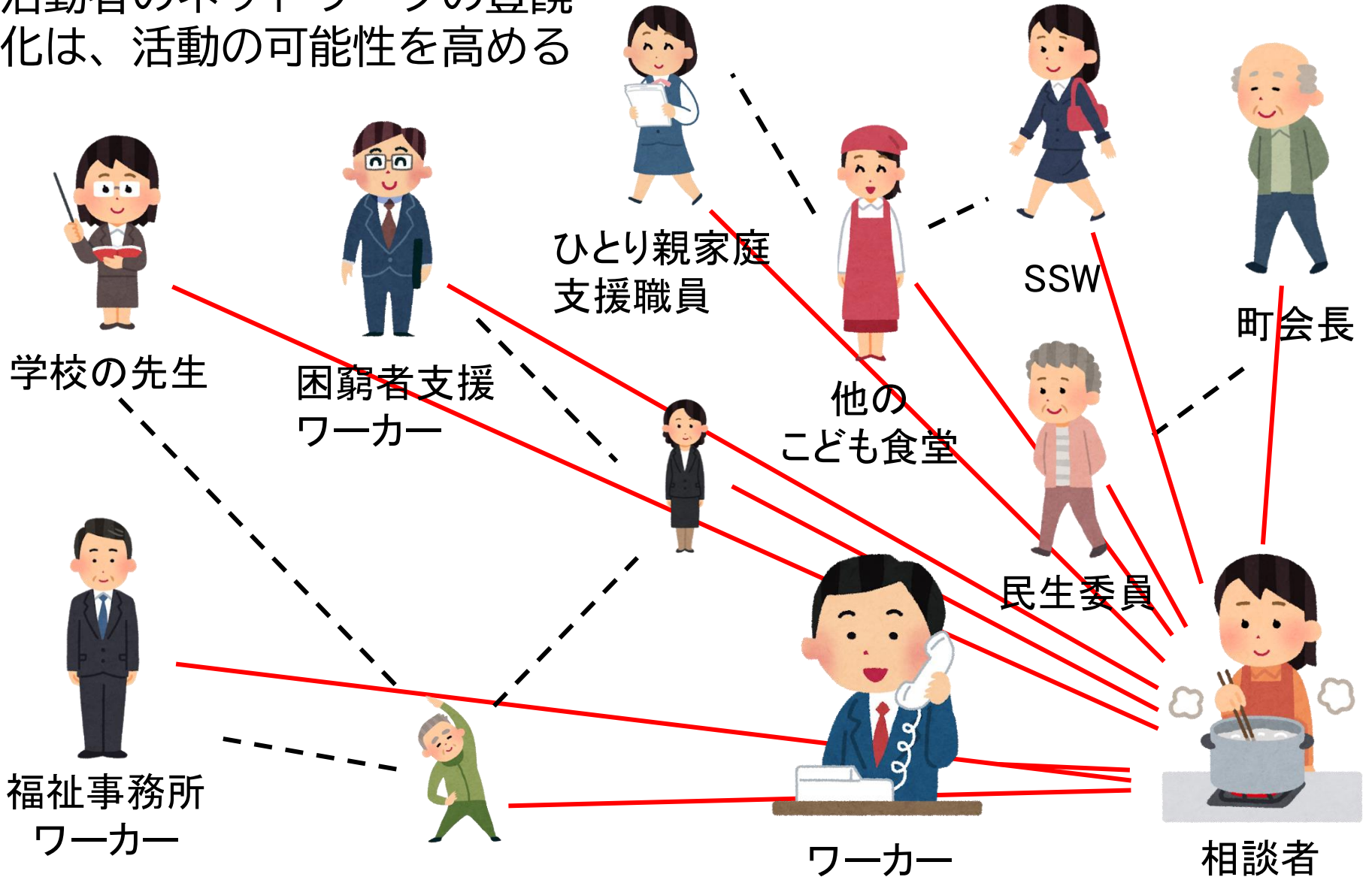


# つなぎ支援のネットワーク（1次～N次）



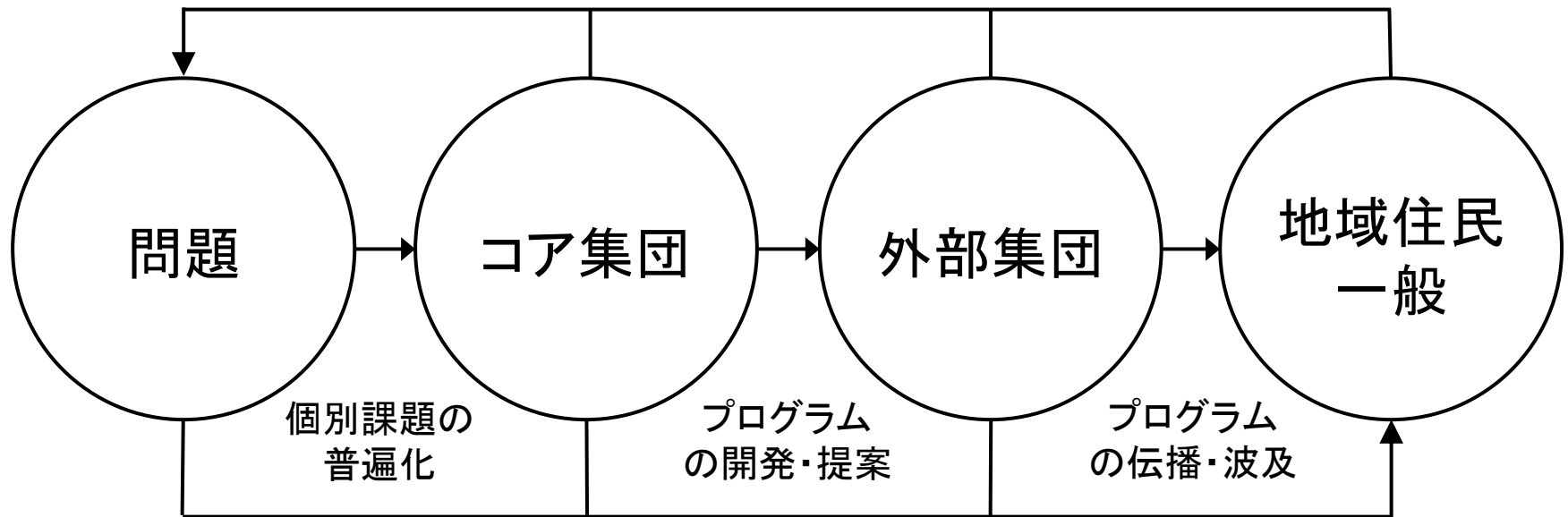
# 活動を支援するつなぎ支援の成果

活動者のネットワークの豊饒化は、活動の可能性を高める



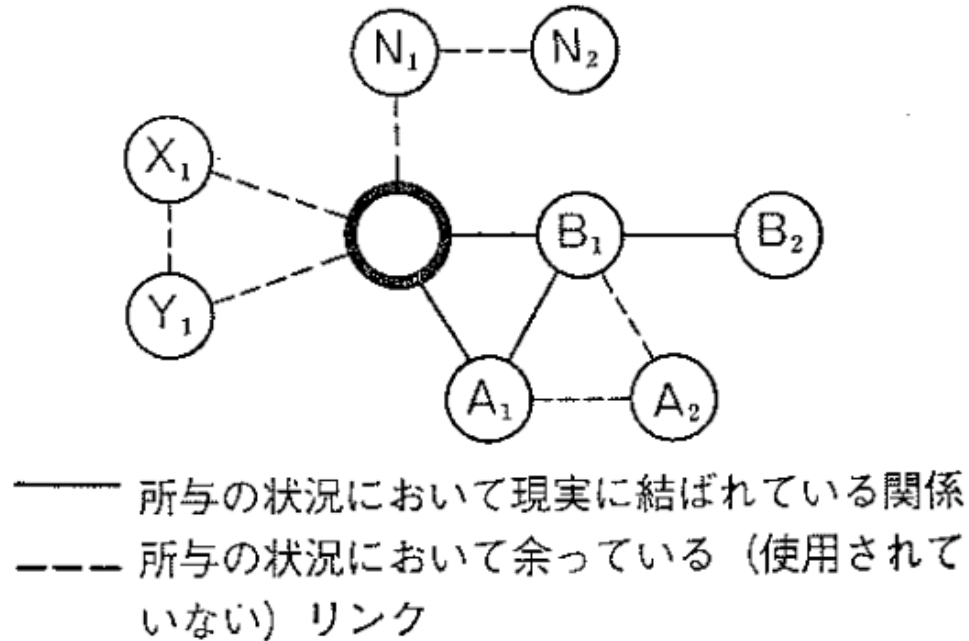
# つなぎ、広げ、信頼をつくるとどうなる？ 普及ネットワークと資源創出のモデル

課題解決につながる資源の提供・創出



普及ネットワークの成長  
(福祉コミュニティの形成と展開)

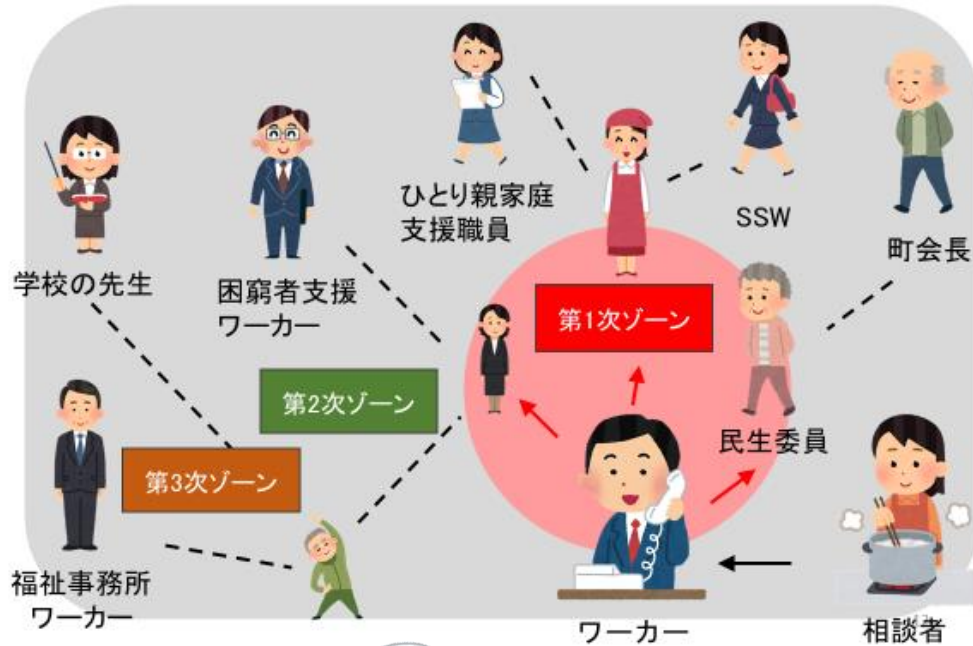
# 顕在的リンクと潜在的リンク



「…研究者の多くは、実は『行為セット』action setと呼ばれているものを考察したのであり、そうした人びとは、潜在的リンク、すなわちある一定の状況では使用されないリンクに対しては関心を払ってこなかったのである」(p. 61)

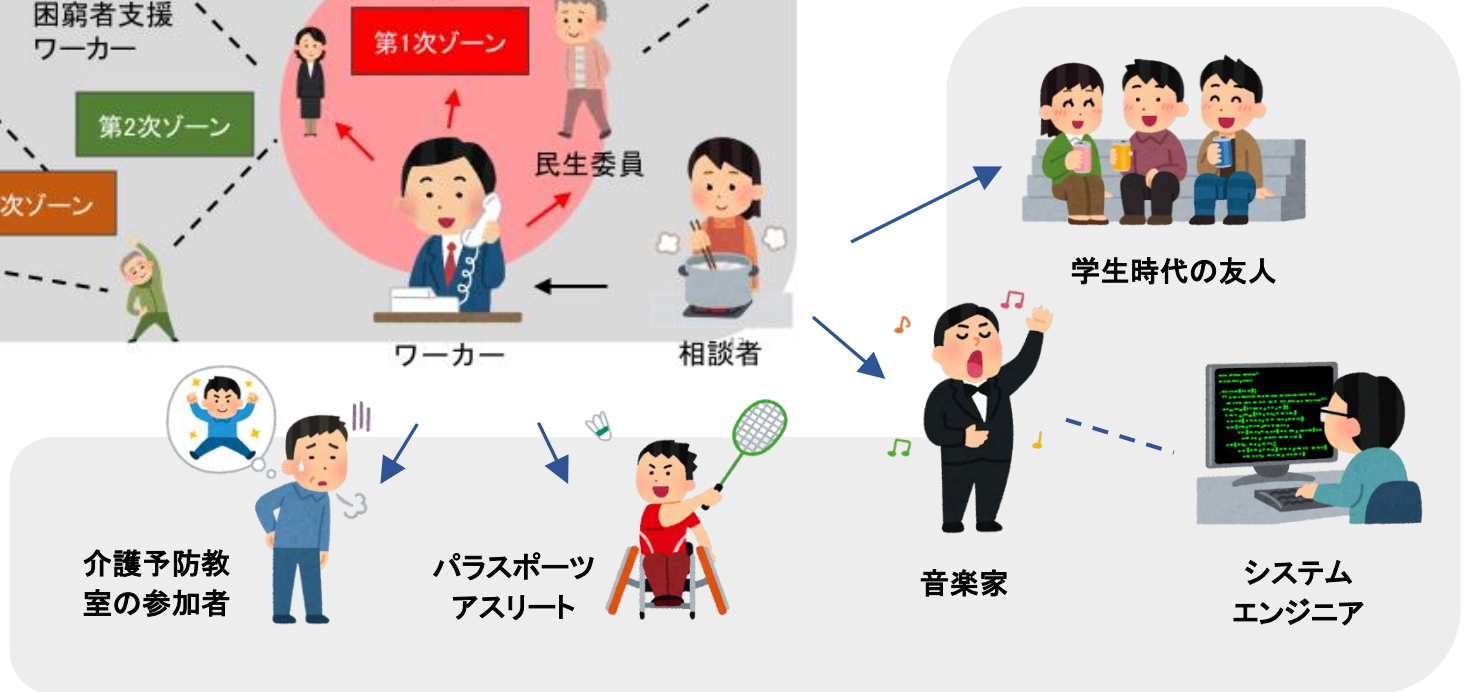
# つなぎ支援のネットワーク（顕在／潜在）

## 顕在的リンク （行為セット）



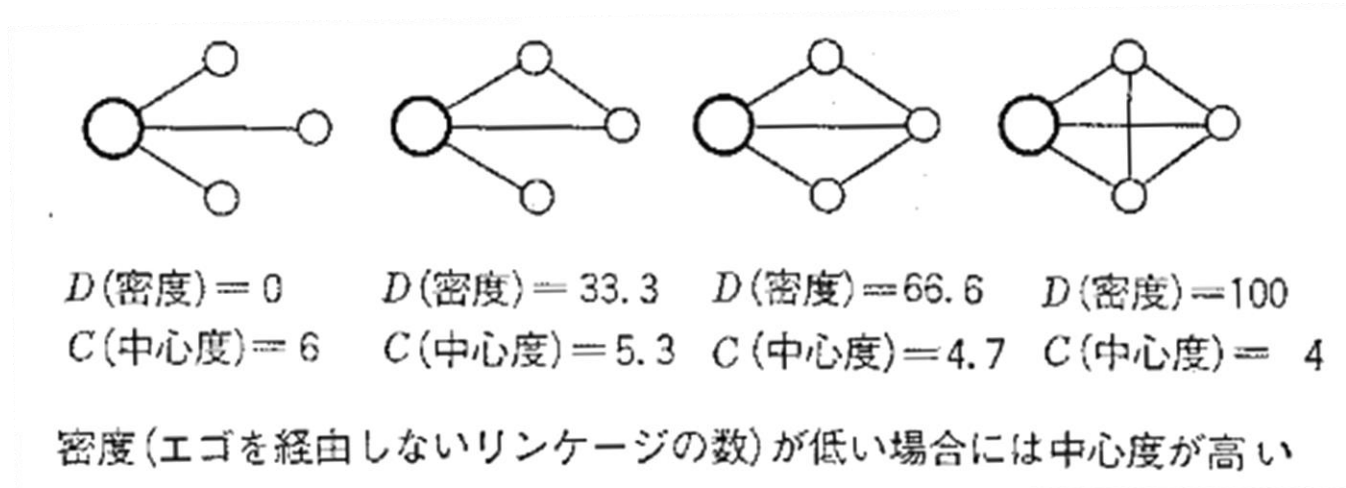
（参考）ジェレミー・ボワセベン『友達の友達：ネットワーク、操作者、コアリッション』（1974 = 1986、未来社）

## 潜在的リンク





# 密度と中心度



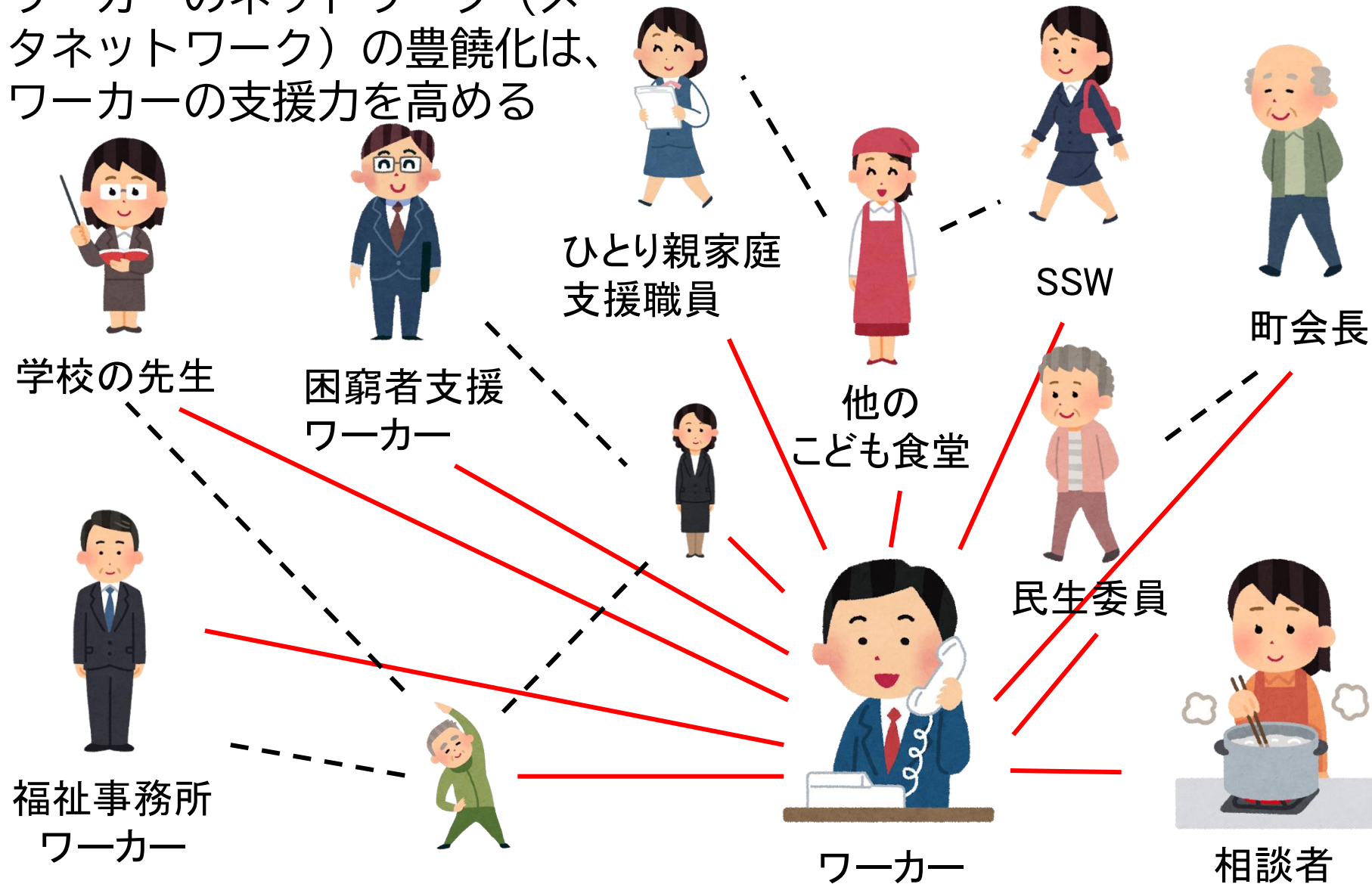
「『高密度のところにはコミュニケーションが存在する』という基本的仮定は、…大方の人びとはそれが真だという前提」(p. 65)

「リーダー(あるいはブローカー)の勢力は、フォロワーたち(あるいはクライアントたち)に対しての、および彼らのあいだでの、情報や、財や、サービスの流れを、彼がどの程度独占しているかということに依存しているといえる」(p. 68)

→密度をつくったり、情報や財などを活動に提供すること

# つなぎ支援の成果イメージ（副産物）

ワーカーのネットワーク（メタネットワーク）の豊饒化は、ワーカーの支援力を高める

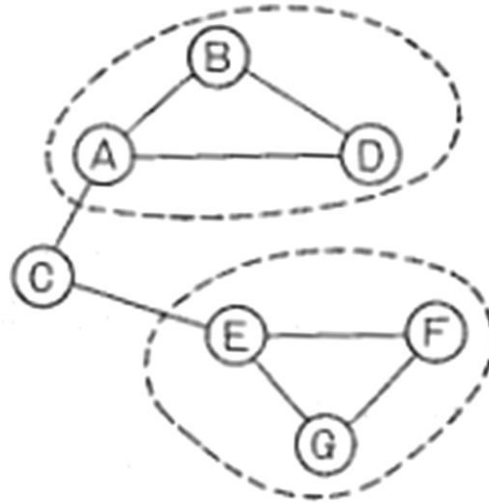


# クラスター

## ワーカーの仕事

CD=「コミュニティ」の開発は、個人間、組織間、そして同じくらい重要なことだが、異なるセクターおよび行為主体間の関係のネットワークの強化および拡張である。

A. Gilchrist (2009)



## ワーカーの仕事

C0=「計画立案」の実践経験をコミュニティ統合に結びつけていく。

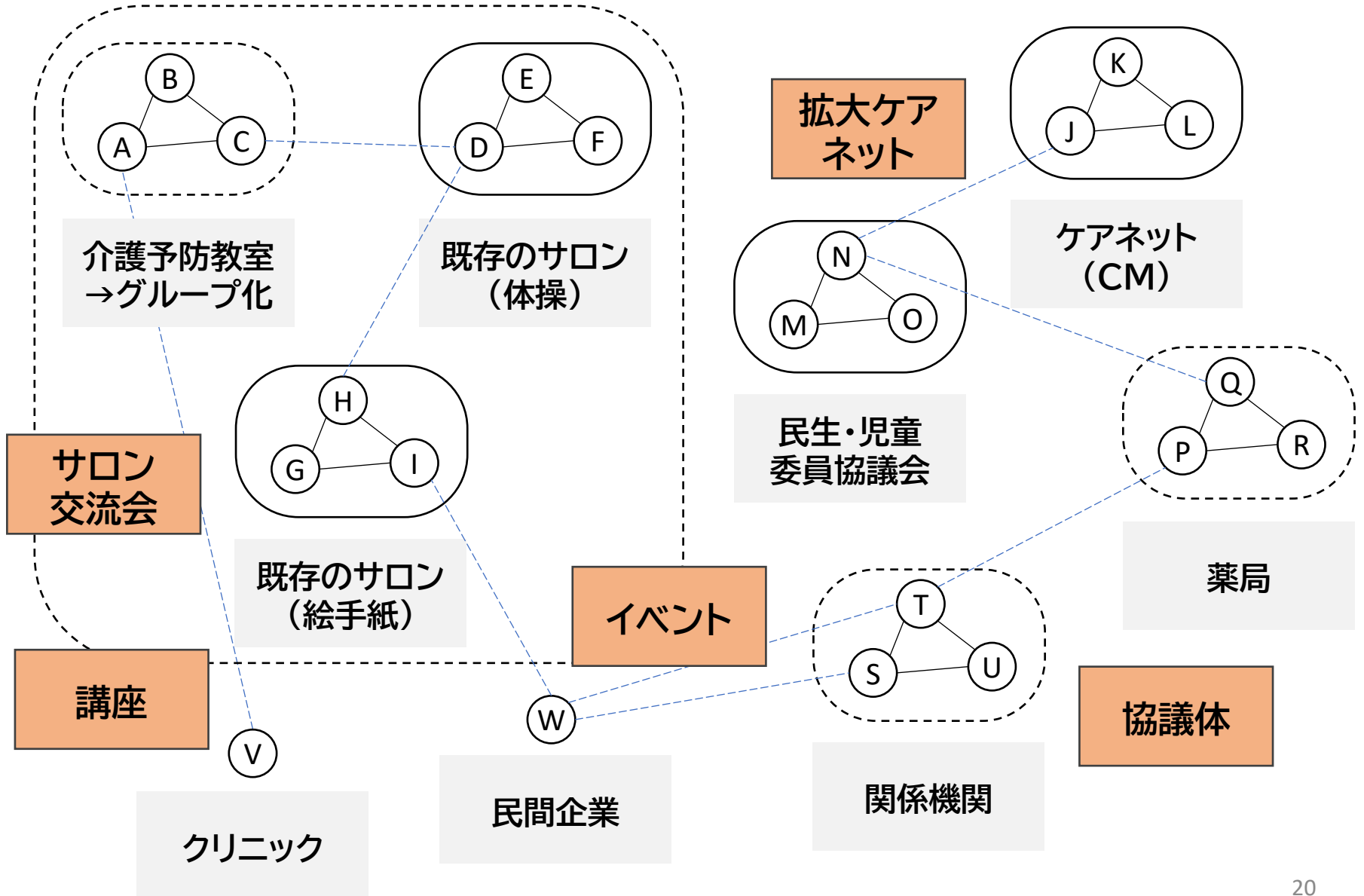
M. G. Ross(1955)

コミュニティの力量形成  
A. Twelvetrees 2002)

「クラスターとは、ネットワークのなかで相対的に高い密度を有する分節体、あるいは仕切られた部分のことである」(p. 69)

「異なるクラスターの成員がそれぞれ理解でき、かつ受容できるような規範に即して行動や説明を合致させることは、文化および行動の同質性をもたらす。…クラスター間に接合リンクエージが高い比率で存在する場合には、そうでない場合に比べて、行動の一致がより多く存在すると予想される」(p. 71-72)

# クラスターをつくる、クラスターを接合する



# R3「人生100年時代の認知症 in 足立梅田」

地域や事業間の縦割り構造を乗り越え、連携事業を実施。  
活動・事業の協働・協創で、認知症にやさしいまち梅田をつくる。

>>>4つの視点で展開<<<



# ボワセベン理論と地域福祉

## ボワセベンの提案

- 過程、変化（≠静態的な永続的社会像）
  - 社会行動
  - 制度の発生や発達  
（操作者としての個人、圧力を加える主体）
- 「ワーカー・住民＝完成された社会像（例えば地域包括ケアシステムの図）を受け取るだけの主体」を超えて、どのように行動すれば良いのか、の示唆を与えてくれるのではないか。